



第 49 回環境工学研究フォーラム 特別企画

これからの 環境工学研究・教育の 海外展開



2012 年 11 月 29 日 (木) 14:40 ~ 17:40

京都大学 百周年時計台記念館 百周年記念ホール

趣旨説明 藤井滋穂 (京都大学)

特別講演

- 「京都大学における研究・教育の国際交流」
- 「世界の留学交流の現況と日本の戦略」
- 「環境関連分野における国際協力の潮流と求められる人材」
- 「アジア地域の環境保全のための協働」

- 大西有三 京都大学 総長特別補佐
- 江藤一洋 東京医科歯科大学 名誉教授
- 石渡幹夫 世界銀行 上級防災管理官
- 鈴木基之 東京大学 名誉教授

パネルディスカッション

参加費 無料

主催：土木学会 (環境工学委員会)

共催：京都大学大学院地球環境学堂

科学技術戦略推進費「京都大学環境マネジメント人材育成国際拠点 (EML プログラム)」

京都大学グローバル COE プログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」

問い合わせ：京都大学 EML プロジェクト室 TEL: 075-753-5925 E-MAIL: eml-core@ges.kyoto-u.ac.jp

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news4/2012/121129_1.htm

昨今、環境工学分野での研究・教育の海外展開が求められています。こうした中、アジア・アフリカ地域における環境問題の解決に向けたリーダーシップを発揮する人材（環境リーダー）を育成するための拠点が、平成20年度より17大学において形成されてきました（科学技術戦略推進費「アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進 戦略的環境リーダー育成拠点形成」）。本年度は初年度採択5大学が最終年度を迎える年度にあたります。そこで、本特別企画では、上記17大学がその成果を発表する「特別企画関連事例発表セッション(S)」と連携し、環境工学研究・教育の海外展開について参加者の皆さんと共に議論したいと思います。

特別講演 紹介



「京都大学における研究・教育の国際交流」

大西有三 京都大学 総長特別補佐

国立大学が法人化し、自立を求められている中、グローバルな競争が激しくなっています。欧米は言うに及ばず、アジアではシンガポール、中国、韓国などの大学が急速に世界ランクを上げております。そうした中、世界でのリーディング大学を目指す京都大学はどのような方針で教育・研究の国際化を図ってきたのか、「環境工学」分野を始め実績としてどのような国際交流が行われてきたのか、問題点と今後の課題は何なのかをまとめ、これからどのようなことを考えていけばいいのかについて考えます。



「世界の留学交流の現況と日本の戦略」

江藤一洋 東京医科歯科大学 名誉教授

世界の留学生交流において、留学生の受入数は2009年現在、米国69万人、英国41万人、独国24万人、仏国27万人、豪国43万人、日本14万人であり、これを合計すると218万人となる。留学生派遣国側からみると、国により派遣国は異なるにしても、平均すると帰国留学生の16人に1人しか日本留学経験者がいないことになる。このため当該国における影響力は相対的には小さいと言わざるを得ない。これを克服するには日本が強い領域を選択し、期限をつけて資源を集中するのも一つの選択肢であろう。



「環境関連分野における国際協力の潮流と求められる人材」

石渡幹夫 世界銀行 上級防災管理官

東日本大震災を始め大規模災害が世界中で頻発している。今後、気候変動や都市化に伴い、災害被害が増大していくことが懸念されている。災害対策は国際社会でも重要な開発課題と認識され始めており、10月に日本で開催された世界銀行IMF総会でも重要なテーマのひとつとして議論された。こうした国際的な潮流について解説する。また、国際機関や日本のODAなど国際協力において求められる人材について説明する。



「アジア地域の環境保全のための協働」

鈴木基之 東京大学 名誉教授

環境問題は人間活動の活発化がその構造的な原因である。人口においても、経済的な活動においても地球全体に占めるアジアの存在感は増しており、地球上で持続可能な人間活動の姿を構築する上では、アジア地域の将来を見える形で示し、そこへ向かって各国間で協働する仕組みを作り上げていくことが必要とされる。この観点から、大学を含む人材育成・人材交流の場はどのような考え方で進むべきであろうか？

特別企画関連事例発表セッション(S) プログラム 2012年11月29日(木) 9:15 ~ 12:10

【特別企画関連事例発表セッション(S) その1】

9:15 ~ 11:00 口頭発表 第1会場 (国際交流ホール I) 11:05 ~ 12:10 ポスター発表
座長 田名部直勝 (前澤工業 (株))

- S01 科学技術戦略推進費 戦略的環境リーダー育成拠点形成~プログラムの目指すもの~ 科学技術振興機構 ○山下廣順
- S02 環境人材育成コンソーシアム (EcoLead) の活動と環境人材育成のためのプログラム 環境人材育成コンソーシアム ○高橋花・森下研・西村美紀子
- S03 広島大学・低炭素社会を設計する国際環境リーダー育成、その成果と今後の展望 広島大学 ○東修・渡邊園子・藤原章正
- S04 京都大学 EML (環境マネジメントリーダー) プログラムの成果と今後の展望 京都大学 ○藤井滋穂・原田英典・藤枝純子・Chinagarn KUNACHEVA・大谷敏美
- S05 名古屋大学国際環境人材育成プログラム (NUGELP) の取り組み 名古屋大学 ○森川高行・永石雅史・古藪真紀子
- S06 早稲田の国際環境リーダー育成プログラムの現状報告 早稲田大学 ○黒澤正一・勝田正文・永井祐二・西崎昭生・眞下克之・中野健太郎
- S07 共鳴型アジア環境リーダー育成ネットワークの展開 東京大学 ○星子智美・秋山知宏・小貫元治・An KYOUNGJINK・片山浩之・横張真・古米弘明・花木啓祐・味壁俊
- S08 ポスト・環境リーダー育成事業の展望と戦略 -800人の環境リーダー人材ネットワークをどのように生かしていくべきか- 筑波大学 ○辻村真貴
- S09 地域からESDを推進する女性環境リーダー 神戸女学院大学 ○武中桂・遠藤知二
- S10 岐阜大学における組織・分野横断型人材育成事業の実践:流域水環境リーダー育成プログラム 岐阜大学 ○吉山浩平・川口倫由・魏永芬・李富生
- S11 持続的発展へのあたらなグローバル人材育成プログラムをめざして: 北海道大学「持続社会構築環境リーダー・マイスター育成」プログラムの挑戦 北海道大学 ○石村学志・田中晋吾・トニー・チンテンデン・モクタル ギザーニ・深水護・田中敦幸
- S12 横浜国立大学「リスク共生型環境再生リーダー育成プログラム」 横浜国立大学 ○金子信博・持田幸良・黒川清登・小林正典・佐藤貴子
- S13 現場立脚型環境リーダー育成プログラムにおける海外フィールド実習 東京農工大学 高田秀重・細見正明・五味高志・下ヶ橋雅樹・今井あい・米田健一・二ノ宮リムさち・尾崎宏和・山口智弘
- S14 戦術的水・資源循環リーダー育成プログラム (SUW) の長期的継続に向けて 北九州市立大学 ○小川美希・原口公子・中大輔・本山洋美・加藤尊秋・安井英育
- S15 九州大学東アジア環境ストラテジスト育成プログラムの特徴と今後の展望 九州大学 ○島岡隆行・工藤和彦・中山裕文・篠崎真美・渡邊優香・中村寛樹
- S16 生態系保全と人間の共生・共存社会の高度化設計に関する環境リーダー育成: 国際的人材育成への挑戦 静岡大学 カサレトベトリス・○鈴木木款・樋口富彦・片畑伸一郎・徳元俊信・吉村仁・加藤憲二・王権
- S17 未来社会創造型環境イノベータの育成 慶應義塾大学 ○宮坂隆文・巖網林
- S18 熊本の水環境の地理的優位性を活かした地下水環境リーダー育成事業 (GelK) 熊本大学 ○川越保徳・大谷順・瀧尾進・嶋田純・才田進・利部慎
- S19 持続可能な発展と社会を構築する国際的環境リーダー育成の取り組み 東北大学 ○田中泰光・田路和幸・李玉友・Michael Norton・木村善博

【特別企画関連事例発表セッション(S) その2】

9:15 ~ 11:00 口頭発表 第2会場 (国際交流ホール II) 11:05 ~ 12:10 ポスター発表
座長 原真一 (株) クボタ

- S20 Contribution to Creating Safe Society as An Environmental Leader 北九州市立大学 ○Thi Hanh DUONG・Kiawo KADOKAAMI
- S21 Basin Water Environmental Leaders connect us, connect the world 岐阜大学 ○Alif SAMSEY・Elsya RISKY・Tyas Utami・So THAVIN
- S22 EDL and LDE: Environmental Diplomatic Leader and Learn Discover Extend 筑波大学 ○Shunghong LI・Zhenya ZHANG
- S23 My role -as the leader of tomorrow 北海道大学 ○Byamba BOLORCHIMEG
- S24 学生主体の環境教育~環境イノベータプログラムの魅力~ 慶應義塾大学 ○薛冰川
- S25 Environmental Education Development through Teaching/Learning Materials for Identifying and Attenuation of Water Pollutants in the Environmental Water (Natural Ecological Systems) 広島大学 ○Kabunga NACHYUNDE
- S26 環境リーダープログラムを通じて得た経験 ~特別講義・インターンシップ・特別研修~ 東北大学 ○松崎嵩史・Michael NORTON・李玉友・田中泰光
- S27 Achievements and Lessons Learnt from Lectures and Internship in East Asia Environmental Strategist Training Program 九州大学 ○Hoang Van LONG
- S28 ベトナム (ホーチミン市)・ホーチミン市における東アジア環境プロジェクト演習に参加を通して 九州大学 ○門司壮史
- S29 Biomass Energy for a Sustainable Future: a New Challenge at Tohoku University 東北大学 ○Gadow S.I・Yu-Yu LI・Y. TANAKA・M. NORTON
- S30 Internship at the Horonobe Deep Underground Research Center and its Application to Hydrological Environment Modeling of Sedimentary Rocks 熊本大学 ○Lu LEILEI LU
- S31 Environmental Impacts of the Reuse of Excavated Rocks: Study Cases in Japan and Peru 京都大学 ○Angelica NAKA・Takeshi KATSUMI・Takehiro OHTA・Giancarlo FLORES
- S32 日中環境実践研究における北京大学との共同フィールドワーク 早稲田大学 ○森友彦
- S33 Re-conceptualizing Leadership for Sustainability in Rural Cambodia 東京大学 Mohesti OKITASARI・Seungmin LEE・Maartin KARLSSON・○Jatuwat SAGSANONT・Hiroyuki KATAYAMA
- S34 Experience of the Internship Program in Hue, Vietnam 京都大学 ○Yoshiko MATSUDA・Phuong TRUONG HOANG・Tung NGUYEN NGOC・Hirohide KOBAYASHI
- S35 Investigating Travelers' Stated Mode Choice Preferences under the Influences of Various Mode Availability Options in BRT System in Surabaya City 広島大学 ○ABM Sertajur RAHMAN・Akimasa FUJIWARA・Junyi ZHANG・Sudarmanto Budi NUGHORO・Togar Arifin SILABAN
- S36 グローバルに活躍する環境ディプロマティックリーダーを目指して~チュニジアにおける水資源研究で得たもの~ 筑波大学 ○高橋瑞穂